

森林環境譲与税に関する決算状況一覧

No.	事業区分	事業名	事業総額（千円）			事業内容	実 績	税導入の効果
			(A) + (B)	(A) うち令和 元年度の森林 環境譲与税 (千円)	(B) うち基 金取崩金 (千円)			
1	意向調査	森林所有者森 林整備意向調 査	2, 090	2, 090	0	未施業森林や造林未済地のまま、森林を放置 している森林所有者に対して、森林整備に関 する意向調査を実施する。	調査対象人数：25人 調査実施面積：63. 9ha	【ワンフリーズ】 ・所有者不明森林の賦存状況が明らかとな るとともに、所有者25人の特定につなが り、以降の新たな森林整備箇所の把握につ ながった。 ・ウッドファーストトイや道南スギの出生 証明書の事業を通じ、地域の素材やその活 用方法を体験することで、森林環境教育に 関する意識の向上、地産地消や林業・木材 産業への理解醸成が図られた。 ・旧教職員住宅のリノベーションを通じ、 森町への関心や愛着の醸成、若年層の就 業・定住化促進への誘因が図られた。 【詳細】 ・道南スギの出生証明書のアンケート調査 の結果、配布した60名中32名から回答があ り、約90%が良い取組であるとの評価と事 業の継続を望む結果となった。 ・空き家となっている旧教職員住宅におい て、学生（大学生・専門学校生・高校生） 延べ100人が講師（建築家、建築施工、大 学・専門学校講師等）の指導を受けながら 地域材（道南スギ）の内装の床と壁の張替 えを3日間にかけて実施した。また、当施設 に設置するためのテーブル、椅子、ベンチ 等の家具を北海道芸術デザイン専門学校の 学生がデザインし、製作した。今後は学生 達の会合・ワークショップ・合宿等のでき るコミュニティ施設としてPRする。 ・林業大学の先進地である岐阜県立森林 文化アカデミーの現地視察(3日間)を地域 の林業関係者で構成する「森町地域サポ ート部会」の委員(5名)・町職員(2名)で実施 した。現地視察後の報告会において、各委 員から出された感想・意見等を踏まえ、今 後は「北の森づくり専門学院」における道 南地域の地域実践実習に反映させていく。
2	森林・林業・木 材普及活動等	親から子ども へのウッド ファースト・ トイ	106	106	0	産まれてくる子どもへの最初の木製品として 「道南スギの積み木」を作りプレゼントす る。積み木作りをとおして木育の新たなア プローチと参加者同士のコミュニティを構築 する。	配付数：24個	
3	森林・林業・木 材普及活動等	道南スギの出 生証明書	312	312	0	道南スギ板（A4判）にレーザー刻印した「出 生証明書」をプレゼントする。新しい町民の 誕生を町内全体でお祝いすることで、地域で 支え合う機運を醸成する。	配付数：60個	
4	担い手確保	全国林業大学 校の現地視察	854	854	0	令和2年度に開校する北海道の「北の森づく り専門学院」において、道内外から人材を獲 得するため、先に開校している学校の施設環 境、機械設備、講師陣、地域振興等について 現状の課題や問題点等を洗い出し、道南地域 における実践実習拠点整備の基礎資料とす る。	森町地域サポート部会（委員5名+町職員2名） による岐阜県立森林文化アカデミーへの視察	
5	担い手確保	旧教職員住宅 リノベーショ ン	1, 026	1, 026	0	北海道立北の森づくり専門学院の令和2年度開 校に向け、学生がインターンシップ等により 一定期間、森町に滞在するための施設として 整備する。旧教職員住宅を木質空間にリノ ベーションすることで、森町の地材地消の取 組紹介と学生の就業促進を図る。さらに民間 企業の長期インターンシップや大学生等の課外 活動・合宿等の施設としても活用すること で、若年層の関係人口創出を目指す。	参加人数：76名 （延べ人数：100名）	
6	基金積立（森林 整備等）	主に間伐等の 森林整備に向 けた積立	4, 392	4, 392	0	市町村森林経営管理事業を実施するための事 業費を確保するために基金積み立て		
		計	8, 780	8, 780	0			